

商品が取り出しやすい
自動販売機



子供から大人まで、また車いす利用の方も、商品を取り出しやすい高さに配慮されています。
(アクセシビリティ)
(使いやすさ)

こんなことUD

入口のインターホン



エントランスホールにある総合案内板は、日本語表記の他点字、外国語でも表記されています。
(アクセシビリティ)

※ この写真は、H15.3「ユニバーサルデザイン事例集」(山形県総務部総合政策室)による。

第3節 情報・サービス

《現状と課題》

- 視覚、聴覚、触覚など複数の感覚に訴えるような情報提供や複数の手段による情報提供がなされていないために、必要な情報を十分に入手できないことがあります。
- 災害発生時などの緊急時において、高齢者や障がい者に対しての情報提供の仕組みが十分ではありません。
- 文字が小さい、表現がわかりにくい、色が識別しにくいなど、情報の内容が十分に伝わりにくいことがあります。
- 対応が画一的であり、利用者のニーズに臨機応変に対応できないなど利用者本位のサービスが提供されていないことがあります。

《推進方向》

- 視覚・聴覚等に障がいのある人や外国人などに対して、点字・手話などの複数の手段や複数の言語の使用、識別しやすい色を使用するなど、必要な情報を的確に、わかりやすく提供していきます。
- すべての人が安心して行動できるために、案内板や標識などを見やすくわかりやすくしていきます。
- 災害発生時などの緊急時において、高齢者や障がい者に対しての情報提供の仕組みを整備していきます。
- 誰もが買い物等を楽しむことができるよう、商店街に駐車場や多目的トイレ、休憩所の整備、託児所の設置などを進めていきます。

- 利用者の立場に立ってサービス提供のあり方を見直すとともに、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた「もてなしの心づくり」を進めています。

《取り組み例》

- ① 印刷物、テレビ、ラジオ、ホームページなどの複数の手段による情報提供の推進
- ② 点字、音声、複数の外国語での表示など複数の手段による情報提供の推進
- ③ 視覚・聴覚障がい者や高齢者、外国人などに対する緊急情報の提供方法の検討
- ④ 窓口における代筆、代読などのサービスの提供の推進
- ⑤ 副音声や手話通訳、字幕付きテレビ番組等の提供の推進
- ⑥ サービス提供事業者に対するユニバーサルデザインの意識づくり
- ⑦ 子育て中でも買い物やイベント等に参加できるよう託児所の設置
- ⑧ 障がい者や高齢者、子ども連れの人々の移動や切符購入等のサポートを行うボランティア活動に対する支援
- ⑨ 障がい者等が利用する器具や補助犬に加えて、各種障がい者を対象にしたマーク、高齢運転者標識、マタニティマークなどの普及を通じた障がい者や高齢者、妊婦、子ども連れの人などが抱える困難やそのニーズの理解の促進
- ⑩ 識別しやすい色を使うなど「色のバリアフリー」に配慮したわかりやすい情報の伝達の促進 など

手話、講演内容のスクリーン表示



講演会において、手話や要約筆記のスクリーンへの表示などの情報提供により、多様な人の参加に配慮しています。講演内容のスクリーン表示は、耳の不自由な方だけでなく、一般の人にとっても、話の内容を文字で確認でき便利です。
〈アクセシビリティ〉
〈使いやすさ〉

こんなことUD

多様な言語に対応した総合案内板



エントランスホールにある総合案内板は、日本語表記の他点字、外国語でも表記されています。
〈アクセシビリティ〉

※ この写真は、H15.3「ユニバーサルデザイン事例集」（山形県総務部総合政策室）による。

